

ZEN

禅を世界に広めたパイオニア

釈宗演の歴史を巡る

日帰りバスツアー

ZEN高僧の  
ふるさとツアー

釈宗演

禅三昧のつどい

2018

9/15(土) 16(日) 17(月祝)

定員：各20名

参加費：5,000円(昼食含む)



しゃくそうえん

釈宗演

(1859～1919)

1859年12月18日、福井県若狭高浜に生まれる。10歳の時、京都妙心寺の釈越溪老師の弟子となり出家。1878年、鎌倉円覚寺の今北洪川老師に参じて修行ののち1883年、印可を得る。禅修業のかたわら1885年、慶応義塾に入学し、福沢諭吉に英語、洋学を学ぶ。27歳の時に、福沢諭吉や山岡鉄舟、鳥尾得庵のすすめもあり、セイロン（現在のスリランカ）に三年に亘って留学。帰国後の1892年、洪川の遷化に伴い32歳で円覚寺派管長に就任。1893年シカゴ万国博覧会の一環として開催された第1回万国宗教会議に参加し、日本人の僧として初めて仏教を紹介、これをきっかけとして「禅」がZENとして欧米に広まることとなる。文豪、夏目漱石や、世界的な宗教学者、鈴木大拙ら多くの知識人、文人、政治家らが師事した近代日本を代表する高僧。



